

第2回仙台市音楽ホール検討懇話会

次第2-(2) 設置目的の考え方について

資料2、資料3

2-(2) 設置目的、ねらいの考え方について

- | | |
|------------------------|-------|
| 1. 設置目的、ねらいの考え方 (たたき台) | ⇒ 資料2 |
| 2. 目的に対応した機能構成 (たたき台) | ⇒ 資料3 |

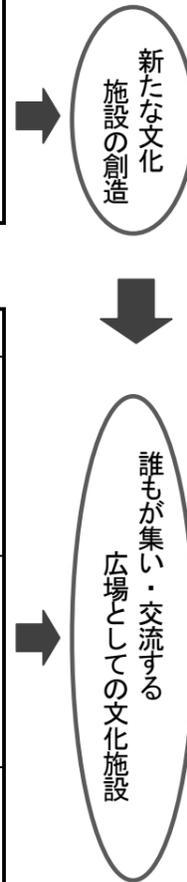
1. 設置目的、ねらいの考え方（たたき台）

- 音楽及び舞台芸術など実演芸術のための音楽ホールの整備ではあるが、同時に、新たな総合的文化芸術政策を展開する拠点の整備、「政策的戦略拠点形成」といった目的を持つ。それは「新たな文化施設の創造」を目指すものである。
- 第1回の議論を踏まえると、施設の目的としては3つの大きな目的が考えられる。
 - (1) 仙台の特徴である実演芸術、市民文化芸術活動のさらなる振興の拠点として「市民に支えられた楽都をさらに高める」
 - (2) 文化芸術を介した創造的なまちづくりの推進拠点として「文化芸術を介したまちづくりを進める」
 - (3) 震災復興過程で実証された文化力をさらに発展させていく拠点として「復興の力となった文化力を社会に活かす」
 ここから想定される新たな文化施設の創造とは、「誰もが集い、交流できる広場としての文化施設」と言える。

図表1 整備事業の基本的目的と施設の目的

整備事業の目的	ねらい
■新たな総合的文化芸術政策を展開する拠点の整備 政策的戦略拠点形成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽・舞台芸術など実演芸術活動を振興する充実した基盤整備 ○ 全ての市民が愛着と誇りを持てる、市民共有の文化拠点形成 ○ 次代に向けた新たな文化芸術振興を推進する拠点形成 ○ まちの活性化、魅力の向上、来街者・回遊者の拡大 ○ 施設整備の投資を上回る大きな貢献と成果を挙げる構造構築

施設の目的	ねらい
■仙台の特徴である実演芸術・市民文化のさらなる振興の拠点形成 (1) 市民に支えられた楽都をさらに高める	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽・舞台芸術など実演芸術の振興の中核拠点 ○ 多彩な市民文化芸術活動の中核拠点 ○ 新たな文化芸術創造の拠点、仙台型楽都創造の拠点 ○ 世界を視野に入れた、仙台、東北、日本の文化拠点
■文化芸術を通じた創造的なまちづくりの推進拠点形成 (2) 文化芸術を介したまちづくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広域集客施設となる都市を代表するユニークで魅力的な拠点 ○ 全ての市民に開かれた交流の場、賑わいの場 ○ まち回遊の拠点、他拠点と連携したエリアマネジメントの拠点 ○ 集客力を活かした経済的波及効果を発揮する施設
■震災復興過程の音楽・文化芸術の力をさらに発展させていく拠点形成 (3) 復興の力となった文化力を社会に活かす	<ul style="list-style-type: none"> ○ 震災復興過程の文化芸術の取組みをレガシーとしていく拠点 ○ 音楽・文化芸術の力を活かす、新たな文化芸術振興の拠点 ○ 文化力の多様な糸口を提供し、全ての市民の包摂する拠点 ○ 震災復興から新たな社会、コミュニティの創造の拠点



図表2 誰もが集い・交流できる広場としての文化施設の3つの目標



- 第1回懇話会では、東北圏だけでなく国内外を視野に入れた広域集客施設であることが指摘された。広域と市域ないしは地域に対する目的の展開イメージは図表3に示される。

図表3 設置目的の対象エリア別の展開イメージ

対象 広域・国内外	目的	対象 市域・地域・市民
<ul style="list-style-type: none"> ○音楽・舞台芸術の創造・発信、育成などの活動を展開する ○広域的な文化芸術拠点性をさらに高める ○仙台型楽都を発展させ、国内外に発信していく 	市民に支えられた楽都をさらに高める	<ul style="list-style-type: none"> ○市民の多彩な文化芸術活動を一層促進し、その拠点となる ○文化芸術を通じた市民交流、市民交歓の場となる ○市民のまちへの誇り、愛着、まちイメージを高める
<ul style="list-style-type: none"> ○広域、国内外からの来館者、観光客が訪れる場となる ○交流人口拡大、来街者の消費行動等から経済的波及効果を高める ○都市の魅力向上と国内外への発信力の向上につなげる ○他都市にない、まちの個性を際立たせる 	文化芸術を介したまちづくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> ○回遊拠点としてまちの回遊性を高め、地域の活性化、経済波及効果をもたらす ○誰でもが集い、交流する場として、賑わいと憩いの場となり、まちの魅力あるスポットとなる ○周辺地域の活性化、魅力ある更新を促進する
<ul style="list-style-type: none"> ○震災からの復興、さらに新たな発展の姿をアピールする ○文化芸術の力の発揮を仙台の特徴的取組みとして発信していく ○新たな総合的文化芸術振興の先端的都市としての位置を獲得する 	復興の力となった文化力を社会に活かす	<ul style="list-style-type: none"> ○復興から新たな社会、コミュニティ形成の取組みに発展させていく ○社会的包摂、多様性を重視する社会づくりを一層進める ○文化芸術の持つ力を発揮していく分野を広げ、新たな活動の場、働く場が広がる

2. 目的に対応した機能構成（たたき台）

（6つの機能の想定）

○ 従来からのホール施設が持つ機能に加え、新しい文化施設の機能としては、「市民に支えられた楽都をさらに高める」、「文化芸術を介したまちづくりを進める」、「復興の力となった文化力を社会に活かす」といった3つの目標を実現するために6つの機能が想定される。

図表4 6つの機能の概要

機能	概要
①公演・鑑賞・発表機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な実演芸術の公演・鑑賞の機会を提供する。 ○ 市民の多様な実演芸術活動の発表の場とする。 ○ 文化的な全国大会等の開催ができる場とする。 ○ いずれもホールに限らず、多様な場の活用も想定される。
②創造・創作・練習機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ ①の機能に至る、創造のプロセスを一連のものとして支援できる場とする。 ○ 独自の企画制作活動も想定し、それらを支えることのできる場とする。 ○ 多様な実演芸術活動に応じた仕様、性能をもった場の整備を想定する。
③文化力発揮機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 震災復興過程で発揮された音楽・文化芸術の力を発展させていく場とする。 ○ 音楽・文化芸術の持つ社会・市民生活への波及効果を様々な形で発揮していく。 ○ 他の機能と連携し、新しい形の文化芸術振興の取組みとして進める。 ○ 多様な主体等と連携し、この機能の推進の中核的役割を担う。
④人材育成機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実演芸術振興、総合的な文化芸術政策展開に係る様々な人材の育成を図る。 ○ 文化力を社会に活かしていくために必要な人材の育成を図る。 ○ 専門人材だけではなく、市民人材、学校等での活動者、ボランティアなどの支援・育成を図る。
⑤交流機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 誰もが日常的に集い、憩い、賑わう場とする。 ○ 広域的な文化観光の拠点、交流人口を誘引する拠点となる。 ○ 文化芸術を介した交流の機会を創出する。 ○ まちの他の魅力と連携し、回遊拠点となり、広がりのある交流の拠点となる。
⑥まちづくり機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化芸術を介して、多様なまちづくりの推進の役割を担う。 ○ まちと連続した広場となるとともに、回遊拠点、交流拠点となる。 ○ 立地周辺エリアの活性化、特徴づくりなど、有する資源を活かし、まちづくりに寄与する。 ○ 広域からの集客、文化観光の拠点として、交流人口、来街者の拡大に寄与する。 ○ 都市イメージ、市民のまち意識などを高め、都市のブランド形成に寄与する。

図表5 機能構成図

